

聖書日課 『からし種』 2021.7.11-7.18

<p>8月1日 (日) エゼキエル 30章</p>	<p>「わたしは偶像を打ち壊し、メンフィスから偽りの神々を断つ」(13節)、「わたしがエジプトに裁きを行うとき、彼らはわたしが主であることを知るようになる」(19節)。偽りの神々を拝む人間に対する、神の厳しい裁きが世界を覆う。私たち人間はいつになったら主が主であることを心底知るようになるのだろう。主の前に静かに自らの心を見つめる礼拝とされて。</p>
<p>2日 (月) エゼキエル 31章</p>	<p>「彼(エジプトのファラオ)の丈は高くされ、その梢を雲の間に伸ばしたので、心は驕(おご)り高ぶった」(10節)。エジプトの美しさと富は、当時の世界中の人びとから賞賛を受け、その梢は天にまで達するほどだった。けれども、より強大なバビロンの出現によりエジプトの栄光は砕かれていく。わたしの中にもある「心のおごり高ぶり」を砕かれる主の前に低くされて。</p>
<p>3日 (火) エゼキエル 32章</p>	<p>「主なる神は言われる。まことに、わたしは生ける者の地に／恐れを置いた」(31-32節)。主なる神は歴史の中に働かれ、人間の「おごり高ぶり」は必ず砕かされていく。主イエスは「人を恐れるのではなく、人を真に裁くことのできる方を恐れよ」と教えてくださった(ルカ 12:4-7)。「恐れなくてよいことを見分け、恐れるべきことを恐れる信仰を与えてください」。</p>
<p>4日 (水) エゼキエル 33章</p>	<p>「わたしは悪人が死ぬのを喜ばない。むしろ、悪人がその道から立ち帰って生きることを喜ぶ。立ち帰れ、立ち帰れ、お前たちの悪しき道から」(11節)。私たち一人ひとりを真に愛し、心配しておられる方が「立ち帰れ」と呼びかけたもう。今日わたしは神の愛に向かう道を歩めているだろうか。もし「立ち帰れ」という声が聞こえたなら、素直に従うことができるように。</p>

メール配信登録メール senfkorn.obc@gmail.com

大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2021.7.11-7.18

<p>5日 (木)</p> <p>エゼキエル 34章</p>	<p>「お前たちはわたしの群れ、わたしの牧草地の群れである。お前たちは人間であり、わたしはお前たちの神である」(31節)。主なる神こそ、私たち一人ひとりの真の牧者。失われた者を尋ね求め、追われた者を連れ戻し、傷ついた者を包み、弱っている者を強くしてくださる方(16節)。今日、この主の背中を見失わずに、主の歩まれる後を従うことができるように。</p>
<p>6日 (金)</p> <p>エゼキエル 35章</p>	<p>「しかしそこに、主がおられた。それゆえ、わたしは生きている、と主なる神は言われる」(10-11節)。「主なる神など、どこにいるのか？」と、主の存在と働きをあなどり軽んじている者たちを、主は見過ごしにはされない。私たちは最後には「そこに主がおられ、生きて働き、私たちの言葉はすべて主に聞かれていた！」ことを知るようになる。</p>
<p>7日 (土)</p> <p>エゼキエル 36章</p>	<p>「わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える」(26節)。祖国の滅亡とバビロン捕囚という大きな苦難を経験した民に、主なる神は慈しみを注ぎ語りかけたもう。「大きな悲しみと嘆きを知ったあなたは、神の聖霊の息吹の力によって新しく生きる者にされる！」と。</p>
<p>8日 (日)</p> <p>エゼキエル 37章</p>	<p>「枯れた骨よ、主の言葉を聞け。これらの骨に向かって、主なる神はこう言われる。見よ、わたしはお前たちの中に霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。」(4-5節)。コロナで教会の活動が一変した。新しい礼拝堂で、新しい教会の働きを積み上げていく私たち。枯れた骨が生き生きと造り上げられるように、私たちにも主の霊が吹き込まれている。</p>